

加入率低下、担い手不足の解消へ 今、求められる自治会・町内会の運営

～規約・会計・個人情報、運営トラブルのお悩み解決～



規約



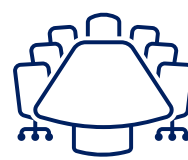
会計処理



個人情報の取扱



ゴミ捨てトラブル



円滑な組織運営



こんな悩みに応えます

新たに会長や役員になったけれど、運営で分からないことが多い
規約を見直したいけど、基本的な知識がない、今更聞けない
会計は今のやり方でいいのか、正しい処理の仕方を知りたい
個人情報保護法への対応ができていない、取扱いに悩むことも
未加入者のゴミ捨て問題、神社関係費、募金等のトラブル対処
運営の見直し、円滑な組織運営に向けた合意形成のあり方とは

講師：合同会社フォーティR&C

地域活性化・まちづくり
コンサルタント 水津陽子



これまでの
登壇回数は
1000本以上

講演セミナー・研修講師

自治体や町内会、企業団体・町内会など
全国から依頼多数



カリキュラム

1. 自治会・町内会の現状と課題
未加入の理由、新たな参加を呼び込むために
今、求められる自治会・町内会の運営とは
2. 自治会・町内会運営の基礎知識
 - (1) 規約
 - (2) 個人情報保護法への対応
 - (3) 自治会・町内会会計の基礎
 - (4) 組織運営 総会、議事録、役員会、機関設計
3. 運営トラブル、お悩みへの対処
 - (1) ついに最高裁へ、未加入者のゴミ捨て問題
 - (2) 空き家、神社関係費、募金など
4. 先進事例に学ぶ、今求められる運営の手法、転換

開催形式

講座形式：

講演のみ（所要時間の目安：60～90分）

講演＋演習（所要時間の目安：2時間～2時間半）

※90分を超える場合、十分な換気休憩の時間をお取りください

演習(例)：

グループワークで意見交換。互いの悩みを話し合い、情報交換。普段、なかなか知る機会がない他の団体の取組みを共有。遠くの先進例より身近に感じ、満足度が高いです。

講座内容のカスタマイズ：

講座内容は主催者様のご要望や所要時間により、カスタマイズ致します。他のリーフレットの講座内容を組み合わせて実施することも可能です。

地域の現状や課題について事前に資料提供を頂ければ、より地域や主催者様のニーズにマッチした内容になるよう講座の資料もカスタマイズ。参加者から頂いた事前質問、お悩みの内容を講座内容に反映することも可能です。



時代の変化、今の住民ニーズに マッチした自治会・町内会とは



～先進事例に学ぶ、魅力的な活動への転換～



カリキュラム(例)

- 1.時代の変化、今の住民ニーズにマッチした魅力的な活動とは
若い世代が加入しない意外な理由、ニーズ、参加したい活動スタイル
- 2.地域活動への入り口「地域デビュー」の支援策を考えよう
加入しても活動に出ない人、地域とつながりを持たない人を呼び込む
地域デビュー支援(例)に学ぶ、企画の立て方と進め方
- 3.先進事例に学ぶ、今、求められる活動、新たな参加のかたち
 - (1)加入にこだわらず、多様な参加を呼び込む仕組みづくり
 - (2)地域の顔の見える関係づくりに注力し、新たな担い手を獲得
 - (3)会が企画運営し抱え込む活動から、会員が主役の活動へ転換
 - (4)これが令和の新常識？会費なし、役の強制なしの自治会も台頭
 - (5)地域資源を生かし自主財源獲得し、地域の課題解決と魅力づくり
 - (6)未加入者のタダ乗り対策で、加入のメリットを「見える化」
 - (7)一部しか参加しない事業は有志運営、受益者負担の原則を導入

開催形式

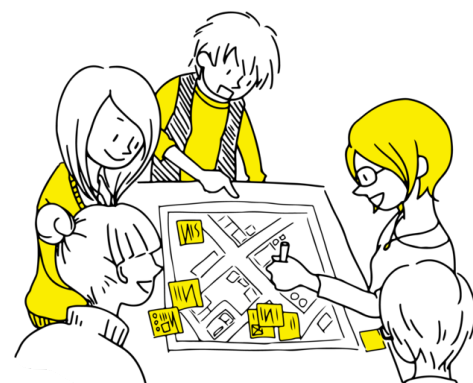
所要時間の目安は講演のみの場合は 60 分～90 分、演習を組み込む場合は2時間～2時間半。カリキュラムに関しては他の講座内容と組み合わせた内容とすることも可能です。演習(例)としては意見や情報を交換したり、地域デビューの支援策(案)を考えるなどがあります。

新たな参加を呼び込むには

今、これまでの自治会の常識が通用しない場面が増え、加入率低下や役員のなり手や活動の担い手不足、活動に参加する人の減少につながっています。

しかし、困った時に助け合える地域の絆を必要と感じる人は若い世代でも7割に及びます。どんな活動、参加の仕方であれば、地域活動に参加し、担い手になってくれるかも調査や各種事例から見えています。

これまでの自治会の常識を押し付けるやり方ではもう現状を変えることは難しい時代です。本講座を今後の活動のあり方を見つめ直すきっかけとして是非、お役立てください。



新たな参加、担い手を呼び込む 広報コミュニケーション講座



IT の活用法も
先進事例で分かりやすく解説

カリキュラム(例)

1. 参加が増えない広報コミュニケーションの問題点

- (1)自治会・町内会の広報の問題点
- (2)新たな参加を呼び込む、勧誘コミュニケーション

2. 参加行動を喚起する、魅力的な広報デザインの基本

- (1)デザイン力がアップする、広報作成の基礎知識
- (2)課題事例の添削に学ぶ！良い広報と悪い広報の違い

事例で学ぶ、広報の改良(例)

みんなの広場づくり事業
●●公園クリーンデー
申込不要

エコで交流・仲間づくり
8月5日(土)10時～13時 in○○公園

概要
10～11時30分 公園の清掃
11時30分～13時 交流イベント
主催者準備:手袋、飲料など
参加費:無料
動きやすい服装で参加ください
清掃活動の後のお楽しみ
参加者交流タイム

主催:みんなの広場づくり実行委員会

参加者募集 **歳末子ども防火
防犯パトロール**

日にち 12月26日(月)
27日(火)
各日とも19～20時

場所 ○○公園
東京都○○区
○○○○○○

特典のお菓子や記念写真の撮影コーナーもあるよ

対象者 ○○市内に居住の小中学生
(小学生は保護者同伴)
定員 各日10組(20名まで)
申込期限 12月10日(土)
参加を希望される方は下記へ
お名前、参加人数、緊急時の
連絡先をお知らせください

お申込
お問合せ

○○自治会 ○○部 担当○○
連絡先 TEL.03-1234-5678
ホームページ <http://abcd.ne.jp>

3. 先進事例に学ぶ、IT 活用法と進め方

- (1)IT 活用の 3 つの原則！5 つのステップ
- (2)先進事例の紹介 IT 活用して負担軽減、防災訓練など

4. 演習(例) 実際にチラシを作ってみよう

既存の広報改良、新たなチラシ・ポスターの作成など(添削・講評)

※ご希望があれば、テンプレート(チラシのひな形)をご用意します

開催形式

〔講座スタイル〕

講義のみ(所要時間の目安:60～90分)
演習あり(所要時間の目安:90分～2時間半)

〔演習内容〕

演習内容については例示したチラシ作成のほか
に、広報や勧誘の方法についての意見交換を行う
例などもあります。

チラシ作成については希望によりグループワー
クで行う場合と各個人のセルフワークとする場合
があります。

〔講座内容のカスタマイズ〕

カリキュラムは本講座の内容に他の講座の内容
を組み込んだ構成とすることも可能です。

〔広報添削〕

希望があれば、カリキュラム 2(1)の講座内で実
際の団体広報の添削も行っています。

〔講師〕 水津陽子

新聞、雑誌、IT メディア等で
多数の連載実績。魅力的な広報
作成のポイントを、事例を交えて
分かりやすく解説します。



今後の地域のあり方を考えるワークショップ



運営の負担軽減、活動のスリム化

役員の高齢化、なり手不足は年々深刻に

退会者対策

増加する集合住宅や若い世代の未加入
近年は高齢者の退会も増えています

新たな活動の担い手確保

高齢者の就業率上昇、ボランティア募集等
今後は新たな参加の仕組みも必要

ワークショップ(例)

〔開催形式〕

対象:自治会・町内会(単会)、地区連合、地域運営組織など

回数:1回～

1回の所要時間の目安:2時間

講座形式:前半は講義(情報提供)、後半は演習(意見交換など)

〔開催例〕 開催回数2回の場合

第1回

講義:地域課題に即した参考情報の提供

演習:地域の現状や課題、今後について思いや意見を交わす

第2回

講義:課題解決の参考となる事例、改善案(例)の紹介

演習:(1)今後の取組みなどについて意見交換、取組みの検討など

(2)課題に即したワーク (例)訴求力のある広報作成など

〔成功のカギ〕

参加者を会長や長老の役員、高齢男性だけでなく、若い世代や女性に声をかけ参加してもらおうと改革が進みやすくなります。中高生や移住者など多様な参加を呼びかけ、活性化する地域も少なくありません。

改革へのきっかけづくり

人口減少や少子高齢化に加えて、役員の高齢化やなり手、活動の担い手不足等、様々な課題を抱える自治会などの地域活動団体。将来へ不安を抱きながらも改革は進まないのが現状です。

ワークショップは今、悩んでいる地域に直面する課題に向き合う場を提供。動き出すきっかけを作っていくものです。

